



森鷗外記念館

住所 Luisenstraße 39, 10117 Berlin
開館時間 火～金 12時～16時、木 12時～18時
電話 +49-30-2093-66933
メール mori-ogai@hu-berlin.de
最新情報 <https://hu-berlin.de/mog-aktuelles>

入館

入館は無料です。新型コロナ対策の一環として、文化施設に関するベルリン市参議会のガイドラインが適用されます。
ご来館前にホームページでご確認ください。

加えて、当館へのご寄付に関する情報もございます。
銀行振込またはPayPalでのご寄付を心よりお待ちしております。

口座名義 Stiftung Mori-Ogai-Gedenkfonds
IBAN DE33 1007 0848 0512 6255 00



ベルリン・フンボルト大学 森鷗外記念館



森鷗外 1862 - 1922

森鷗外は、多くの日本人同様、1880年代に「近代科学」を学ぶという国家からの使命を帯びて、ベルリンへとやってきました。ロベルト・コッホをはじめとする科学者たちのもとで、鷗外は医学研究の世界に没頭しました。同時に、大学の自由な気風に感銘を受けて、医学研究に負けない熱意でヨーロッパ文学、哲学、芸術にも親しみました。



新たな自己意識とともに日本へ戻った鷗外は、その後陸軍の軍医として最高位にまで昇り詰めました。退役後は皇室博物館総長、帝国美術院院長を歴任しています。また、職務と並行して、熟練の作家、熱心な翻訳家として、旺盛な出版活動を繰り広げました。

なかでも社会に無類の影響を与えたのは、自伝的要素を持つ中編小説『舞姫』(1890年)です。日本人留学生とベルリン女性との悲劇的な恋愛関係を描いたこの小説は、日本近代文学の幕開けとされています。



森鷗外記念館は、鷗外がヴィルヘルム二世時代のベルリンに留学した際(1887年—1888年)の最初の住まいにあり、鷗外の人生と作品、また鷗外の生きた時代の研究に従事しています。

常設展示「異文化との出会い」では、鷗外の生涯について知り、その著作を閲覧することができます。世界のさまざまな地域とさまざまな知の分野の出会いを扱った鷗外の諸作品には、今日でも色あせない魅力があります。当館ではまた、日本とドイツの交流の歴史に光を当てる折々の特別展示や定期的な催しも行っています。

